

看護師等確保に係る実態調査について（概要）

1. 調査の概要

目的：看護師等の現況を把握し、保健医療計画の見直しや今後の看護師等確保対策を推進するための基礎資料とするため。

期間：平成29年9月15日～10月4日

方法：郵送によるアンケート配布・回収

対象：病院、有床診療所、訪問看護ステーション、介護老人福祉施設、介護老人保健施設（全733施設）

回収率 72.7%（533/733）（平成29年10月16日現在）

病院	70.6%（120/170）
有床診療所	51.8%（43/83）
訪問看護ステーション	74.9%（191/255）
介護老人福祉施設	77.1%（118/153）
介護老人保健施設	84.7%（61/72）

主な内容

- ① 平成29年7月1日現在の看護師等職員数（常勤換算）について
- ② 平成29年7月1日現在の休職者（実人員）について
- ③ 現状における職員数の過不足について

2. 調査結果（中間）の概要

病院

- 不足を感じている病院は、120病院中69病院（57.5%）
- 全体では、現状の看護師等職員数の4.3%（775人）増員希望
- 医療圏別では、最も不足を感じているのは山城南であり、次いで丹後、山城北と続いている。
- 自由記載では、増員理由として夜勤体制の充実を挙げた施設が6件あった。

有床診療所

- 不足を感じている有床診療所は、43機関中8機関（18.6%）
- 全体では、現状の看護師等職員数の4.0%（11人）増員希望
- 不足を感じている施設数の割合が最も低い。
- 増員希望人数の割合が最も低い。

訪問看護ステーション

- 不足を感じている事業所は、191施設中100施設（52.4%）
- 全体では、現状の看護師等職員数の15.0%（160人）増員希望
- 医療圏別では、最も不足を感じているのは京都・乙訓であり、次いで南丹、丹後と続いている。
- 増員希望人数の割合が最も高い。
- 自由記載では、増員理由として職員が少なく欠勤時等のフォローが困難を挙げた施設が3件あった。

介護老人福祉施設

- 不足を感じている事業所は、118施設中40施設（33.9%）
- 全体では、現状の看護師等職員数の10.1%（61人）増員希望
- 医療圏別では、最も不足を感じているのは丹後であり、次いで南丹、中丹と続いている。
- 自由記載では、増員理由として医療ケアの充実を挙げた施設が4件あった。

介護老人保健施設

- 不足を感じている事業所は、61施設中38施設（62.3%）
- 全体では、現状の看護師等職員数の9.3%（70人）増員希望
- 医療圏別では、最も不足を感じているのは丹後であり、次いで中丹、京都・乙訓と続いている。
- 不足を感じている施設の割合が最も高い。
- 自由記載では、増員理由として在職職員の高齢化を挙げた施設が4件あった。

病院

- ・不足を感じている病院は、120病院中69病院（57.5%）であり、すべての圏域において、不足を感じている病院があった。
- ・医療圏別に見ると、最も不足を感じているのは山城南であり、次いで丹後、山城北と続いている。
- ・全体では、現状よりも看護師等を4.3%増員したいとの希望であった。

1. 回収率：70.6%（120/170）

2. 現状の看護師数（常勤換算）	16,504.8名
（参考：平成28年12月末業務従事者届）	20,837.9名
病棟	12,466名
手術室	776名
外来	2,005名
訪問看護	140名
地域連携	95名
その他	621名

3. 休職者（実人員） 635名
4. 減の必要性 あり 8施設（減員検討人数：51名（0.3%））
5. 増の必要性 あり 69施設（増員希望人数：775名（4.3%））

医療圏別

	総数	回答数	回答率	現状の看護師等数		休職者	減の必要性			増の必要性		
				常勤換算	実人員		あり	減員検討人数	あり	増員希望人数		
丹後	6	6	100%	763.5	832	44	0	0	0.0%	5	59	7.1%
中丹	17	13	76.5%	1,063.0	1,159	68	1	17	1.5%	8	22	1.9%
南丹	10	5	50.0%	557.6	608	7	0	0	0.0%	2	9	1.5%
京都・乙訓	110	76	69.1%	11,459.2	12,491	439	6	27	0.2%	42	533	4.3%
山城北	24	18	75.0%	2,505.9	2,731	64	1	7	0.3%	10	132	4.8%
山城南	3	2	66.7%	155.6	170	13	0	0	0.0%	2	20	11.8%
全体	170	120	70.6%	16,504.8	17,990	635	8	51	0.3%	69	775	4.3%

57.5%

※ 不足感あり：69施設÷120施設=57.5%

病床規模別

	総数	回答数	回答率	現状の看護師等数				休職者		減の必要性			増の必要性		
				常勤換算		実人員		全体	平均	あり	増員希望人数		あり	増員希望人数	
				全体	平均	全体	平均								
200床未満	116	78	67.2%	4,521.2	58.0	4,928	63	145	1.9	2	8	0.2%	44	235	4.8%
200床以上 400床未満	33	28	84.8%	4,698.7	167.8	5,122	183	207	7.4	2	23	0.4%	15	201	3.9%
400床以上	21	14	66.7%	7,284.9	520.4	7,941	567	283	20.2	2	16	0.2%	10	339	4.3%
合計	170	120	70.6%	16,504.8	137.5	17,990	150	635	5.3	6	47	0.3%	69	775	4.3%

57.5%

一般病床の機能別内訳

	病棟数 (割合)	病床数	平均 在院日数	現状の看護師等数	
				常勤換算	実人員
高度急性期	46 (17.9%)	1,475	11.0	1,165.8	1,271
急性期	107 (41.6%)	5,162	16.5	2,644.8	2,883
回復期	27 (10.5%)	1,256	67.1	537.2	586
慢性期	77 (30.0%)	3,781	315.0	1,472.6	1,605
合計	257	11,674		5,820.4	6,344

○増員理由

病棟部門の充実	53件 (23.6%)
勤務環境の改善	35件 (15.6%)
外来部門の充実	29件 (12.9%)
地域連携部門の充実	24件 (10.7%)
病院管理・看護管理部門の充実	22件 (9.8%)
研修体制の充実	17件 (7.6%)
訪問看護・在宅ケア部門の充実	16件 (7.1%)
病床転換による看護基準の見直し	13件 (5.8%)

その他 (自由記載) 16件 (7.1%)

- ・夜勤体制の充実 (6件)
- ・育休産休等による退職者の補充 (3件)
- ・看護基準の見直し (3件)
- ・手術室看護師の充実 (2件)
- ・嘱託職員が多いため
- ・重篤な合併症を持つ高齢患者が増え、病状の急変に対応するため。
- ・デイケア部門の充実
- ・入退院サポートセンターを設置するため看護師の役割を拡大させたい。
- ・教育の専従を置きたい。

○減員理由

外来部門の見直し	3件 (27.3%)
病棟部門の見直し	2件 (18.2%)
病床転換による看護基準の見直し	2件 (18.2%)
病院管理・看護管理部門の見直し	1件 (9.1%)
勤務環境の改善	1件 (9.1%)
訪問看護・在宅ケア部門の見直し	0件 (0.0%)
地域連携部門の見直し	0件 (0.0%)
研修体制の見直し	0件 (0.0%)

その他 (自由記載) 2件 (18.2%)

- ・法人内の他事業所へ異動予定でオリエンテーション期間で定数増としていたため
- ・産休・育休職員の復帰
- ・透析センター人員配置の見直し

有床診療所

・不足を感じている有床診療所は、43機関中8機関（18.6%）であった。

1. 回収率：51.8%（43/83）

2. 現状の看護師数（常勤換算） 255.4名

（参考：平成28年12月末業務従事者届 514.3名）

3. 休職者（実人員） 8名

4. 減の必要性 あり 0施設（減員検討人数：0名）

5. 増の必要性 あり 8施設（増員希望人数：11名（4.0%））

医療圏別

	総数	回答数	回答率	現状の看護師等数		休職者	減の必要性			増の必要性		
				常勤換算	実人員		あり	減員検討人数		あり	増員希望人数	
丹後	3	3	100%	4.5	5	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%
中丹	13	5	38.5%	28.0	31	0	0	0	0.0%	1	1	3.3%
南丹	5	3	60.0%	29.8	32	1	0	0	0.0%	0	0	0.0%
京都・乙訓	50	26	52.0%	158.0	172	5	0	0	0.0%	5	7	4.1%
山城北	10	5	50.0%	30.1	33	2	0	0	0.0%	2	3	9.1%
山城南	2	1	50.0%	5.0	5	0	0	0	0.0%	0	0	0.0%
全体	83	43	51.8%	255.4	278	8	0	0	0.0%	8	11	4.0%

18.6%

※不足感あり：8施設÷43施設＝18.6%

○増員理由

- 病棟部門の充実 4件（28.6%）
- 勤務環境の改善 4件（28.6%）
- 外来部門の充実 3件（21.4%）
- 病院管理・看護管理部門の充実 1件（7.1%）
- 地域連携部門の充実 1件（7.1%）
- 研修体制の充実 1件（7.1%）
- 訪問看護・在宅ケア部門の充実 0件（0.0%）
- 病床転換による看護基準の見直し 0件（0.0%）
- その他（自由記載） 0件（0.0%）

○減員理由：回答なし

訪問看護ステーション

- ・不足を感じている事業所は、191施設中100施設（52.4%）
- ・医療圏別に見ると、最も不足を感じているのは京都・乙訓であり、次いで南丹、丹後と続いている。
- ・全体では、現状よりも看護師等を15%増員したいとの希望であった。

1. 回収率：74.9%（191/255）

2. 現状の看護師数（常勤換算） 977.2名

（参考：平成28年12月末業務従事者届 1,158.9名）

3. 休職者（実人員） 27名

4. 減の必要性 あり 1施設（減員検討人数：1名（0.1%））

5. 増の必要性 あり 100施設（増員希望人数：160名（15.0%））

医療圏別

	総数	回答数	回答率	現状の看護師等数		休職者	減の必要性			増の必要性		
				常勤換算	実人員		あり	減員検討人数		あり	増員希望人数	
丹後	9	6	66.7%	41.1	45	0	0	0	0.0%	4	6	13.4%
中丹	20	15	75.0%	83.8	91	3	0	0	0.0%	8	12	13.1%
南丹	10	6	60.0%	29.9	33	0	0	0	0.0%	4	5	15.3%
京都・乙訓	173	129	74.6%	648.0	706	18	1	1	0.1%	69	117	16.6%
山城北	33	26	78.8%	133.9	146	6	0	0	0.0%	13	16	11.0%
山城南	10	9	90.0%	40.5	44	0	0	0	0.0%	2	4	9.1%
全体	255	191	74.9%	977.2	1065	27	1	1	0.1%	100	160	15.0%

52.4%

※ 不足感あり：100施設÷191施設=52.4%

○増員理由

訪問看護・在宅ケア部門の充実	89件 (46.8%)
勤務環境の改善	49件 (25.8%)
研修体制の充実	27件 (14.2%)
地域連携部門の充実	10件 (5.3%)
病院管理・看護管理部門の充実	5件 (2.6%)
病棟部門の充実	0件 (0.0%)
外来部門の充実	0件 (0.0%)
病床転換による看護基準の見直し	0件 (0.0%)

その他 (自由記載) 10件 (5.3%)

- ・定年退職者の補充 (3件)
- ・依頼増加のため (3件)
- ・職員が少なく欠勤時等のフォローが困難 (3件)
- ・2025年に向けて、訪問看護師を増員しスムーズな在宅移行をめざす必要がある。

○減員理由

地域連携部門の見直し	1件 (50.0%)
病棟部門の見直し	0件 (0.0%)
外来部門の見直し	0件 (0.0%)
病院管理・看護管理部門の見直し	0件 (0.0%)
訪問看護・在宅ケア部門の見直し	0件 (0.0%)
研修体制の見直し	0件 (0.0%)
勤務環境の改善	0件 (0.0%)
病床転換による看護基準の見直し	0件 (0.0%)

その他 (自由記載) 1件 (50.0%)

- ・訪問件数が伸びない

訪問看護ステーション実態調査結果（医療圏別集計）

医療圏	施設数	回答数	回収率	Ns等計	Ns等平均	利用者実人員(1施設あたり平均)			訪問延べ回数(1施設あたり平均)		
						介護	医療	合計	介護	医療	合計
丹後	9	6	66.7%	41.1	6.9	94.0	37.2	131.2	409.8	229.0	638.8
中丹	20	15	75.0%	83.8	5.6	64.2	21.5	85.7	327.0	138.7	465.7
南丹	10	6	60.0%	29.9	5.0	44.0	20.5	64.5	233.5	125.8	359.3
京都乙訓	173	129	74.6%	648.0	5.0	53.4	31.0	84.4	288.8	168.1	456.8
山城北	33	26	78.8%	133.9	5.2	47.9	32.3	80.2	264.0	201.5	465.5
山城南	10	9	90.0%	40.5	4.5	41.7	32.6	74.2	220.2	123.1	343.3
全体	255	191	74.9%	977.1	5.1	53.9	30.4	84.3	287.2	168.8	456.0

平成29年6月実績

医療圏	回答数	24時間連絡体制の有無			24時間対応の有無			乳幼児加算の有無(3歳未満)			幼児加算の有無(3歳以上6歳未満)			難病加算の有無		
		あり	なし	あり%	あり	なし	あり%	あり	なし	あり%	あり	なし	あり%	あり	なし	あり%
丹後	6	1	5	16.7%	5	1	83.3%	0	6	0.0%	1	5	16.7%	3	3	50.0%
中丹	15	3	12	20.0%	15	0	100.0%	3	11	20.0%	2	12	13.3%	8	6	53.3%
南丹	6	4	1	66.7%	6	0	100.0%	1	5	16.7%	0	6	0.0%	3	2	50.0%
京都乙訓	129	44	74	34.1%	108	18	83.7%	17	104	13.2%	8	113	6.2%	49	66	38.0%
山城北	26	9	16	34.6%	19	5	73.1%	5	20	19.2%	2	22	7.7%	9	14	34.6%
山城南	9	4	5	44.4%	7	2	77.8%	2	7	22.2%	0	9	0.0%	4	5	44.4%
全体	191	65	113	34.0%	160	26	83.8%	28	153	14.7%	13	167	6.8%	76	96	39.8%

平成29年6月実績

訪問看護ステーション実態調査結果（規模別集計）

看護職員数	丹後	中丹	南丹	京都乙訓	山城北	山城南	利用者実人員(1施設あたり平均)			訪問延べ回数(1施設あたり平均)		
							介護	医療	合計	介護	医療	合計
2.5～3.0未満	0	2	1	18	3	4	24.8	8.5	33.4	132.6	63.5	196.1
3.0～5.0未満	1	5	2	56	10	2	41.3	33.4	74.7	214.5	144.5	359.0
5.0～7.5未満	4	5	2	36	10	2	65.1	33.7	98.8	352.2	220.2	572.4
7.5～10.0未満	0	3	1	14	1	1	76.4	39.8	116.2	448.6	254.8	703.4
10.0以上	1	0	0	5	2	0	136.1	30.9	167.0	637.0	174.1	811.1
全体	6	15	6	129	26	9	53.9	30.4	84.3	287.2	168.8	456.0

平成29年6月実績

看護職員数	回答数	24時間連絡体制の有無			24時間対応の有無			乳幼児加算の有無(3歳未満)			幼児加算の有無(3歳以上6歳未満)			難病加算の有無		
		あり	なし	あり%	あり	なし	あり%	あり	なし	あり%	あり	なし	あり%	あり	なし	あり%
2.5～3.0未満	28	11	16	39.3%	18	9	64.3%	3	22	10.7%	1	25	3.6%	6	20	21.4%
3.0～5.0未満	76	33	34	43.4%	62	11	81.6%	7	63	9.2%	2	67	2.6%	22	45	28.9%
5.0～7.5未満	59	13	46	22.0%	53	5	89.8%	13	46	22.0%	7	51	11.9%	33	21	55.9%
7.5～10.0未満	20	6	12	30.0%	19	1	95.0%	3	16	15.0%	1	18	5.0%	10	9	50.0%
10.0以上	8	2	5	25.0%	8	0	100.0%	2	6	25.0%	2	6	25.0%	5	1	62.5%
全体	191	65	113	34.0%	160	26	83.8%	28	153	14.7%	13	167	6.8%	76	96	39.8%

平成29年6月実績

訪問看護ステーション実態調査結果（PT・OT・ST配置状況）

医療圏	回答数	リハ職種配置状況		
		PT	OT	ST
丹後	6	50.0%	16.7%	0.0%
中丹	15	33.3%	20.0%	13.3%
南丹	6	33.3%	0.0%	16.7%
京都乙訓	129	26.4%	22.5%	7.8%
山城北	26	30.8%	23.1%	7.7%
山城南	9	22.2%	33.3%	11.1%
全体	191	28.3%	22.0%	8.4%

看護職員数	回答数	リハ職種配置状況		
		PT	OT	ST
2.5～3.0未満	28	17.9%	17.9%	3.6%
3.0～5.0未満	76	23.7%	21.1%	6.6%
5.0～7.5未満	59	39.0%	27.1%	11.9%
7.5～10.0未満	20	25.0%	20.0%	15.0%
10.0以上	8	37.5%	12.5%	0.0%
全体	191	31.4%	24.6%	11.0%

介護老人福祉施設

- ・不足を感じている事業所は、118施設中40施設（33.9%）
- ・医療圏別に見ると、最も不足を感じているのは丹後であり、次いで南丹、中丹と続いている。
- ・全体では、現状よりも看護師等を10.1%増員したいとの希望であった。

1. 回収率：77.1%（118/153）

2. 現状の看護師数（常勤換算） 553.5名

（参考：平成28年12月末業務従事者届 681.7名）

3. 休職者（実人員） 5名

4. 減の必要性 あり 1施設（減員検討人数：1名（0.2%））

5. 増の必要性 あり 40施設（増員希望人数：61名（10.1%））

医療圏別

	総数	回答数	回答率	現状の看護師等数		休職者	減の必要性			増の必要性		
				常勤換算	実人員		あり	減員検討人数		あり	増員希望人数	
丹後	20	19	95.0%	87.2	95	1	1	1	1.1%	11	19	20.0%
中丹	19	10	52.6%	63.3	69	0	0	0	0.0%	3	10	14.5%
南丹	11	8	72.7%	35.6	39	0	0	0	0.0%	4	6	15.5%
京都・乙訓	74	60	81.1%	261.0	284	3	0	0	0.0%	14	15	5.3%
山城北	22	16	72.7%	80.7	88	1	0	0	0.0%	6	7	8.0%
山城南	7	5	71.4%	25.7	28	0	0	0	0.0%	2	4	14.3%
全体	153	118	77.1%	553.5	603	5	1	1	0.2%	40	61	10.1%

33.9%

※ 不足感あり：40施設÷118施設＝33.9%

○増員理由

病棟（入所）部門の充実	30件（32.6%）
勤務環境の改善	22件（23.9%）
外来（通所）部門の充実	12件（13.0%）
研修体制の充実	8件（8.7%）
病院管理・看護管理部門の充実	2件（2.2%）
訪問看護・在宅ケア部門の充実	1件（1.1%）
地域連携部門の充実	1件（1.1%）
病床転換による看護基準の見直し	1件（1.1%）

その他（自由記載） 15件（16.3%）

- ・医療ケアの充実（4件）
- ・新たな加算の取得（3件）
- ・増設、新設による事業拡大（3件）
- ・利用者の重度化（3件）
- ・今後の地域包括ケアの受け皿としての機能を充足するには看護師の増員と教育、指導は不可欠
- ・受診などに手間がかかるため
- ・非常勤看護師の勤務状況により不足の可能性があるため
- ・派遣による体制確保であるため

○減員理由

勤務環境の改善	1件（100.0%）
病棟（入所）部門の見直し	0件（0.0%）
外来（通所）部門の見直し	0件（0.0%）
病院管理・看護管理部門の見直し	0件（0.0%）
訪問看護・在宅ケア部門の見直し	0件（0.0%）
地域連携部門の見直し	0件（0.0%）
研修体制の見直し	0件（0.0%）
病床転換による看護基準の見直し	0件（0.0%）
その他（自由記載）	0件（0.0%）

介護老人保健施設

- ・不足を感じている事業所は、61施設中38施設（62.3%）
- ・医療圏別に見ると、最も不足を感じているのは丹後であり、次いで中丹、京都・乙訓と続いている。
- ・全体では、現状よりも看護師等を9.3%増員したいとの希望であった。

1. 回収率：84.7%（61/72）
2. 現状の看護師数（常勤換算） 692.0名
（参考：平成28年12月末業務従事者届 865.0名）
3. 休職者（実人員） 11名
4. 減の必要性 あり 0施設（減員検討人数：0名）
5. 増の必要性 あり 38施設（増員希望人数：70名（9.3%））

医療圏別

	総数	回答数	回答率	現状の看護師等数		休職者	減の必要性			増の必要性		
				常勤換算	実人員		あり	減員検討人数		あり	増員希望人数	
丹後	2	2	100%	24.5	27	0	0	0	0.0%	2	4	15.0%
中丹	7	7	100%	90.2	98	2	0	0	0.0%	6	14	14.2%
南丹	7	5	71.4%	45.8	50	2	0	0	0.0%	2	3	6.0%
京都・乙訓	45	37	82.2%	436.0	475	5	0	0	0.0%	24	44	9.3%
山城北	9	8	88.9%	70.0	76	1	0	0	0.0%	4	5	6.6%
山城南	2	2	100%	25.2	27	1	0	0	0.0%	0	0	0.0%
全体	72	61	84.7%	691.7	754	11	0	0	0.0%	38	70	9.3%

62.3%

※ 不足感あり：38施設÷61施設＝62.3%

○増員理由

病棟（入所）部門の充実	33件（33.7%）
勤務環境の改善	21件（21.4%）
外来（通所）部門の充実	11件（11.2%）
病院管理・看護管理部門の充実	10件（10.2%）
研修体制の充実	8件（8.2%）
訪問看護・在宅ケア部門の充実	3件（3.1%）
地域連携部門の充実	3件（3.1%）
病床転換による看護基準の見直し	0件（0.0%）

その他（自由記載） 9件（9.2%）

- ・在職職員の高齢化（4件）
- ・入所者の重度化等（2件）
- ・今後も介護職の採用が難しい現状が続くようであれば看護職で補う必要が出てくる可能性がある。

看護師等確保対策に係る実態調査
【病院（一般・療養・精神・結核・感染症）】

京都府では、看護師等の現況を把握し、保健医療計画の見直しや今後の看護師等確保対策を推進するための基礎資料とするため、調査を実施します。
つきましては、御多忙中恐縮ですが、調査に御協力いただきますようお願いいたします。

※恐れ入りますが、10月4日までに回答をお願いします。

【記入上の注意】

- ・表1の「病棟について」の記入は、病棟ごとにお願いします。
- ・平均在院日数以外については、平成29年7月1日現在の状況についてご記入ください。
- ・病床機能区分については、原則、病床機能報告における報告(予定)区分をご記入ください。なお、報告時と状況が変わっている場合は、現状をご記入ください。
- ・平均在院日数について、病院（一般、療養）は、直近1ヶ月分の内容をご記入ください。
- ・平均在院日数について、病院（精神、結核、感染症）は、直近1ヶ月分の内容をご記入ください。
- ・地域包括ケア病棟は、看護基準欄に「地域包括ケア」とご記入ください。
- ・看護師等とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。
- ・表1の「病棟について」のうち、PT、OT、ST、薬剤師は、病棟合計欄にのみご記入ください。
- ・看護師等及びPT、OT、ST、薬剤師の職員数は、常勤換算した数値をご記入ください。
なお、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位でご記入ください。ただし、0.1に満たない場合は0.1とご記入ください。

【計算例】 週の勤務時間が40時間の病院で、週3日(各日5時間)勤務の看護師が2名いる場合

$$\frac{3日 \times 5時間 \times 2人}{40時間} = 0.75$$
 (小数点以下第2位を四捨五入) = 0.8

- ・職員数とは、勤務時間の概ね8割以上を当該部門で勤務する職員を指します。
- ・複数の部門を兼務している職員で、各部門での勤務が勤務時間の8割未満の場合は、外来部門の職としてご記入ください。

調査票の記入者			
施設名			
職名		氏名	
電話		FAX	
Eメールアドレス			

■表1 「病棟について」

病床区分	病棟	病床数	平均 在院日数	看護基準	職員数（常勤換算）				病床機能区分
					看護師等	PT	OT	ST	
記入例	A	50	**	7:1	36.5				※原則、病床機能報告の報告(予定)区分をご記入ください。
一般	B	50	**	地域包括ケア	20.0				
						-	-	-	
						-	-	-	
						-	-	-	
						-	-	-	
						-	-	-	
						-	-	-	
						-	-	-	
						-	-	-	
						-	-	-	
						-	-	-	
病棟合計	0	0			0				

■表2 「病棟以外について」

	平均患者数 (平成28年度)	職員数（常勤換算）					備考
		看護師等	PT	OT	ST	薬剤師	
手術室	名/月						
外来部門	名/月						
訪問看護部門	名/月						
地域連携部門	名/月						
その他							

■表3 病院全体の看護師等職員数（常勤換算）

看護師等	PT	OT	ST	薬剤師

看護師等確保対策に係る実態調査
【有床診療所】

京都府では、看護師等の現況を把握し、保健医療計画の見直しや今後の看護師等確保対策を推進するための基礎資料とするため調査を実施します。
つきましては、御多忙中恐縮ですが、調査に御協力いただきますようお願いいたします。

※恐れ入りますが、10月4日までに回答をお願いします。

【記入上の注意】

- ・平成29年7月1日現在の状況についてご記入ください。
- ・看護師等とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。
- ・病床機能区分については、原則、病床機能報告における報告(予定)区分をご記入ください。なお、報告時と状況が変わっている場合は、現状をご記入ください。
- ・表1のPT、OT、STは、合計欄にのみご記入ください。
- ・看護師等及びPT、OT、STの職員数は、常勤換算した数値をご記入ください。
なお、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位でご記入ください。ただし、0.1に満たない場合は0.1とご記入ください。

[計算例] 週の勤務時間が40時間の診療所で、週3日(各日5時間)勤務の看護師が2名いる場合

$$\frac{3日 \times 5時間 \times 2人}{40時間} = 0.75 \text{ (小数点以下第2位を四捨五入)} = 0.8$$

- ・職員数とは、勤務時間の概ね8割以上を当該部門で勤務する職員を指します。
- ・複数の部門を兼務している職員で、各部門での勤務が勤務時間の8割未満の場合は、外来部門の職員としてご記入ください。

調査票の記入者			
施設名、			
職名		氏名	
電話		FAX	
Eメールアドレス			

■表1

区分	病床数	平均 在院 日数	職員数（常勤換算）			病床機能区分 (該当するものに○)	備考
			看護師等	PT	OT		
記入例	4	3	3	合計欄に記入をお願いします。			原則、病床機能報告の報告(予定)区分をご記入ください。
				-	-	-	
				-	-	-	
				-	-	-	
合計	0	0	0				

■表2

	平均患者数 (平成28年度)	職員数（常勤換算）				備考
		看護師等	PT	OT	ST	
手術室	名/月					
外来部門	名/月					
訪問看護部門	名/月					
地域連携部門	名/月					
その他						

調査は以上で終了です。
御協力ありがとうございました。

看護師等確保対策に係る実態調査
【訪問看護ステーション】

京都府では、看護師等の現況を把握し、保健医療計画の見直しや今後の看護師等確保対策を推進するための基礎資料とするため調査を実施します。
つきましては、御多忙中恐縮ですが、調査に御協力いただきますようお願いいたします。

※恐れ入りますが、10月4日までに回答をお願いします。

【記入上の注意】

- ・「1. 職員数」については、平成29年7月1日現在の状況についてご記入ください。
 - ・「2. 利用実人数」以降は、平成29年6月の実績をご記入ください。
 - ・看護師等とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。
 - ・看護師等及びPT、OT、STの職員数は、常勤換算した数値をご記入ください。
- なお、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位でご記入ください。ただし、0.1に満たない場合は0.1とご記入ください。

〔計算例〕 週の勤務時間が40時間の診療所で、週3日(各日5時間)勤務の看護師が2名いる場合

$$\frac{3日 \times 5時間 \times 2人}{40時間} = 0.75 \text{ (小数点以下第2位を四捨五入)} = 0.8$$

調査票の記入者			
施設名			
職名		氏名	
電話		FAX	
Eメールアドレス			

※「1. 職員数」は、H29. 7. 1現在の状況をご記入ください。

1. 職員数	職員数 (常勤換算)
看護師等	名 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> うち、認定看護師 専門看護師 </div> 名 名
P T	名
O T	名
S T	名

※「2. 利用実人数」以降は、H29. 6月の実績をご記入ください。

2. 利用実人数 (月)	介護保険	医療保険
	名 (※平成29年6月実績)	名 (※平成29年6月実績)
3. 延べ利用回数 (月)	介護保険	医療保険
	名 (※平成29年6月実績)	名 (※平成29年6月実績)
4. 24時間連絡体制	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
5. 24時間対応体制	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無
6. 乳幼児加算	<input type="checkbox"/> 有: ____名 (※平成29年6月実績)	<input type="checkbox"/> 無
7. 幼児加算	<input type="checkbox"/> 有: ____名 (※平成29年6月実績)	<input type="checkbox"/> 無
8. 難病等加算	<input type="checkbox"/> 有: ____名 (※平成29年6月実績)	<input type="checkbox"/> 無

調査は以上で終了です。

御協力ありがとうございました。

看護師等確保対策に係る実態調査
【特別養護老人ホーム、介護老人保健施設】

京都府では、看護師等の現況を把握し、保健医療計画の見直しや今後の看護師等確保対策を推進するための基礎資料とするため調査を実施します。
つきましては、御多忙中恐縮ですが、調査に御協力いただきますようお願いいたします。

※恐れ入りますが、10月4日までに回答をお願いします。

【記入上の注意】

- ・平成29年7月1日現在の状況についてご記入ください。
- ・看護師等とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。
- ・看護師等及びPT、OT、STの職員数は、常勤換算した数値をご記入ください。
なお、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位でご記入ください。ただし、0.1に満たない場合は0.1とご記入ください。

[計算例] 週の勤務時間が40時間の診療所で、週3日(各日5時間)勤務の看護師が2名いる場合

$$\frac{3日 \times 5時間 \times 2人}{40時間} = 0.75 \text{ (小数点以下第2位を四捨五入)} = 0.8$$

調査票の記入者			
施設名			
職名		氏名	
電話		FAX	
Eメールアドレス			

○貴施設の入所定員をご記入ください。

入所定員		名
------	--	---

○貴施設に通所系サービスは併設されていますか？

なし

あり（ありの場合は、利用者数についてご記入ください。（平成29年6月実績））

利用者数	デイケア (通所リハビリテーション)	:	名/日
	デイサービス (通所介護)	:	名/日
	(その他)	:	名/日

職員数	職員数（常勤換算）
看護師等	名
PT	名
OT	名
ST	名

看護師等職員の現状について

※看護師等とは、保健師、助産師、看護師、准看護師を指します。

1. 貴施設において、基準上必要な看護師等の人数（常勤換算）及び現状の看護師等の人数（常勤換算）についてご記入ください。また、参考までに休職者数（実人員）についてご記入ください。なお、介護施設につきましては、病棟を入所、外来を通所と読み替えてご記入ください。

	病棟 (入所)	外来 (通所)	訪問看護	手術室	地域連携	その他	合計
基準	名	名	名	/	/	/	0.0 名
現状	名	名	名	名	名	名	0.0 名

休職者
(実人員) 名

2. 上記の結果を踏まえて、現状よりも増やす必要がある、又は減らす必要があると考えますか。

- ない
 ある (下の表に記入をお願いします。)

	病棟 (入所)	外来 (通所)	訪問看護	手術室	地域連携	その他	合計
増	名	名	名	名	名	名	0 名
減	名	名	名	名	名	名	0 名
合計	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名

3. 2において増やす又は減らす必要がある理由は何ですか。(複数選択可)

【増やす理由】

- 1. 病棟(入所)部門の充実
- 2. 外来(通所)部門の充実
- 3. 病院管理・看護管理部門の充実
- 4. 訪問看護・在宅ケア部門の充実
- 5. 地域連携部門の充実
- 6. 研修体制の充実
- 7. 勤務環境の改善
- 8. 病床転換による看護基準の見直し
- 9. その他(自由記載)

【減らす理由】

- 10. 病棟(入所)部門の見直し
- 11. 外来(通所)部門の見直し
- 12. 病院管理・看護管理部門の見直し
- 13. 訪問看護・在宅ケア部門の見直し
- 14. 地域連携部門の見直し
- 15. 研修体制の見直し
- 16. 勤務環境の改善
- 17. 病床転換による看護基準の見直し
- 18. その他(自由記載)

[]

[]

看護師等確保推進協議会調査票に係る御意見

	<p>依頼文の最初の部分は文体を強くして、協力依頼ではなく、「今回の保険医療計画の策定や今後の看護師等確保対策を推進するために必ず御回答をお願い致します」、ぐらしい文章でないかと思えます。</p>	<p>・御意見をふまえ修正しています。</p>
A	<p>アンケートの項目について ・診療所(無床)では看護師等が従事していないところもあるので「従事なし」項目を入れた方が記入しやすいのでは？ ・コメント欄(備考欄)を設けて自由意見を記入できるようにしてはどうか？</p>	<p>・御意見をふまえ修正しています。</p>
A	<p>医療課としての管轄は ・病院、診療所(有床、無床) ・訪問看護ステーション ですが、これだけでは全体把握には繋がらないため、 《高齢者関連として看護師配置が必置》の下記施設へのアンケートも必要だと思います。 せっかく貴重なアンケートをされるのであれば、特養、老健だけではなく以下の事業所にもアンケート送付が可能であればより精度が向上するかと思います。部署の垣根を越えて頑張っていたきたいです。 ・児童福祉施設 ・障害者福祉施設 ・(身体、知的、精神)障害者施設 ・重度心身障害者施設 ・障害者支援施設 また各学校(養護教諭) 幼稚園、保育園での看護師等の勤務も増えてきています。 時間、予算等の御都合もありませんが、可能な範囲でご検討下されば幸いです。</p>	<p>・法的に配置が必要又は従事人数が多い施設を選択して今回調査対象としました。</p>
B	<p>【病院】版について 1)現状では、病床を高度急性期・急性期・回復期・慢性期に明確に分類することは困難と考えられる。平成29年3月に発行された「京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)」においてもその点は配慮され、「各構想区域の目標」(p29)の中でも、高度急性期と急性期はまとめて表示されている。同様に回復期については、地域包括ケア病棟の機能的位置づけが明確ではないこと、慢性期においては介護療養病床の必要性や入院医療・在宅医療の明確な区別が困難であることから、病床数は幅をもって提示されている。 以上より、今回の調査書(案)の項目中の「H29.7.1現在の病床機能区分(該当するものに○)」についても、柔軟な選択ができるような書式にするべきであるとする。 来年度に国が実施する推計調査で使用される計算式においては、4つの機能区分ごとに看護職員数を提出するようになっているが、今回の京都府保健医療計画の見直しに対する調査においては、上記に提案した内容が実情に合っているとされる。</p> <p>2)PT・OT・ST・薬剤師については、病棟と外来などを兼務する場合も多くみられる。したがって、「1. 病棟について」「2. 病棟以外について」にまたがって常勤換算人数を記載する場合の記載方法について、注意書きに示すか、具体例を挙げて示すと良いと思われる。</p> <p>【有床診療所】版について 1)上記の【病院版】1)2)の意見と同様の記載方法について、検討する必要があるのではないかと考える。</p> <p>【訪問看護ステーション】版について 1)項目6～8の各加算取得の有無について、「有」と回答した場合に人数を記載するよう指定されているが、今回のデータ収集にあたって、どの観点に立った人数を記載するのか(例:1ヶ月間の加算算定延べ数なのか、ある時点において加算算定対象となっている利用者数なのか)について、注意書きに示しておくほうがよいと思われる。 2)項目9～10の「認定看護師・専門看護師」の配置については、看護師人数の記載欄に「うち認定看護師()名、専門看護師()名」といった形で示しておくほうが記載しやすいと思われる。</p> <p>【各施設共通の調査票】について 1)当調査票の内容については、「病院」に記載を求める場合は問題ないが、例えば「特別養護老人ホーム」や「介護老人保健施設」に回答を求めるときにあたっては、記載者がどのように記載すればよいのか混乱する恐れがある(病棟、手術室などの部門がもともとなく、デイケア・デイサービスなど実際の部門人数についてはすべて「その他」の項に合計人数を記載せざるを得ない)。 2)「基準上必要な看護師等の人数」とあるが、病棟などについては一定の基準人数が算出できる一方、その他の部門(手術室など)については基準の明確化が難しいと考えられることから、「基準人数の記載ルール」に関してより具体的に示すか、もしくは調査項目について絞り込むなどの代替手段の検討が必要ではないか。</p> <p>・看護師等は、医療法や診療報酬上の基準に合わせた人員を配置していれば良い訳ではなく、産休・育休・療養等で長期に休暇を取得する看護師等も考慮に入れ、基準以上の人員を確保する必要があり、その分看護師等の不足感は更に増すことになっている。 長期休職中の看護師等も把握し、これも踏まえた看護師等の需給対策を講じるべきではないか。</p>	<p>・機能区分の選択肢の他、自由記入も可となりました。</p> <p>・病院全体の看護師等職員数を設けて施設全体として何名いるかを把握できるようにしました。</p> <p>・注意書には複数兼務で各部門の勤務が勤務時間の8割未満の場合は、外来として計上するよう追記しました。</p> <p>・その他の項目についてもご意見をふまえて修正しました。</p>
C	<p>・事務職は調べなくて良いのか ・機能強化型訪問看護ステーションを調べなくて良いか ・みなしの看護状況はどうか ・看護小規模多機能型居宅介護を調べなくて良いか</p>	<p>・事務職の配置は京都府調査で把握済。 ◎63.8%に配置有り(191事業所回答) ・法的に配置が必要又は従事人数が多い施設を選択して今回調査対象としました。</p>
D	<p>表の右端「H29.7.1現在の病床機能区分」欄について、本区分の記載対象は一般と療養のみだと思いが、精神や結核、感染症の病院はどのように記載するのがわからない。何も記載しなくていいのか、それとも、精神は急性期又は回復期で記載するのかを表の下欄に明記してほしい。</p>	<p>・御意見をふまえ修正しています。</p>
E	<p>・医療区分だけでなく機能区分も調査しては</p>	<p>・御意見をふまえ修正しています。</p>